

2035 ~ 2045

NA-8

自然と深く共存することにより山や川などと会話することが出来る言語「自然語」が生まれ、鳥取県はその言語を学ぶ場となる

概要

教育現場におけるDX化の充実により学校教育において都市部と地方の教育水準が均一化されることで、学外教育の重要性が高まり、各地域で独自性のある学外教育が発展する。鳥取県においては、豊富な自然環境を活かした学外教育が進展し、深く自然と過ごし自然の変化や兆しを読み取る経験を積むことで、自然と会話するかのように、森林・植物などの生育状況の的確な把握、災害危険個所の早期発見、天候の予測などが可能となるスキル「自然語」の習得に適した地域となる。

変化のポイント(商品・サービス/価値観・行動/業界/などの変化)

いままでは

地方は教育環境が乏しく、学びの機会が少ない



これからは

地方でも教育環境が整備され、地方でしか学べない学びが増える